

3 海外現地調査 イギリスの事例紹介

3 海外現地調査 イギリスの事例紹介

3.1 はじめに

最近、若者たちの学習意欲が低下しているとの指摘がある。またフリーターという名に代表されるように、若者たちの就職に関する考え方が変化している。このような現象は日本の社会全体が不景気であることも一因ではあるが、職業に従事するために必要な能力が低下していることも一因である。そこで若者たちを中心とした幅の広い層の者を対象としたキャリア教育が重要となっている。

一方、英国においては、主に18歳以上の一般人を対象として学習環境の構築を政府主導で実施している。これはラーンダイレクトと呼ばれ、561の学習コースをインターネットによって提供しており、イングランド地区だけで2,000以上のオンライン学習センターを設けている。このラーンダイレクトによる学習コースの配信は2000年から実施されており、約143万人（以上の数字は2003年7月末現在）が学習した。

このように我が国における学習環境を支援するためには、英国におけるラーンダイレクトの現状が参考になる。そこで4名の調査員が英国を訪問し、関係機関を訪問して調査した。

調査のため出張した期間は2005年1月11日（火）～15日（土）の5日間である。ただし、往復に時間がかかるため、英国における実質的な調査日は3日間であった。

まずロンドンでは教育展示会の初日（1月12日）で行われた教育技能大臣の基調講演会に参加した。12月に突然教育技能大臣の交代があり、わずか38歳という若い女性が教育技能大臣になられたが、就任して間もないこともあってか例年発表される新しい政策を発表することはなかった。また、2日後の新聞には彼女は教育のことは分かっていないとの記事も載せられた。午後はブリティッシュカウンシルが推進しているGlobal Gatewayに関する説明を受け、日本の連携協力を求められた。

2日目（1月13日）は、車で約2時間の距離にあるフォークストーンのラーンダイレクト学習センター（SES）を訪問した。そこで、ラーンダイレクトの現状を聞くことができ、実際に学習していた青年に対してもインタビューすることができた。

3日目（1月14日）は、ロンドンから約270km離れたシェフィールドへ特急列車で行き、ラーンダイレクトを担当している教育技能省とラーンダイレクトの実施機関であるUniversity for Industryを訪問し、英国全体における状況と最近の変化について調査することができた。

3.2 調査結果の概要

本調査によって得られた結果の概要をまとめると以下のようになる。

(1) ラーンダイレクトの位置付け

- 英国の教育政策を成長の段階別のカテゴリーに分けると、①早期教育、②学校（初等、中等）、③高等、④学校後教育に区分される。ラーンダイレクトは、このうちの学校後教育の政策実施手段である。
- 学校後教育の分野には、特に16歳から20代前半までの大学進学者でない若年層をターゲットとしてスキル面からそのレベルを、NVQ注1のレベル2、3に引き上げることを政策目標とするポスト16があるが、ラーンダイレクトは16歳以降全般を対象にNVQレベル2を達成させることを目標としている。
- 具体的な PSA 注2の目標としては、2001年の時点で7百万人いたNVQレベル2以下の労働者の数を2010年までに40%以上削減することを目標としている。
- ラーンダイレクトはこの目標を達成するための数ある政策手段の一つに過ぎないが、その特徴と功績は、これまで学習を拒絶または学習に関心を示さなかった層をターゲットとし、彼らを学習に取込むことに成功したことであるとされている（アンケートによるとラーンダイレクトの学習者の29%はラーンダイレクトがなかったら、自分は学習をしなかったと答えている）。
- ラーンダイレクトの発想の原点は、60年代に当時最先端のメディアであったテレビを使って学習環境を整えようとしたオープン・ユニバーシティ（OU）と同じもので、現在の最先端のメディアであるITを活用して学習環境の向上に貢献しようというものであるが、OUは、現在では、高等教育分野の政策ツールとして位置づけられており、2010年までに大学進学率を50%とするPSA目標の達成のための重要な政策手段として位置づけられている。

（注1）NVQ(National Vocational Qualification)は、学校教育と職業教育の資格制度を扱う機関を統合することによって1997年10月に誕生したQCA (Qualifications and Curriculum Authority) により制定された制度。なお、NVQレベル2は、中学校卒業時に全員が受けるGCSE (General Certificate for Secondary Education) において通常期待される成績のレベルと同等である。

（注2）PSA(Public Service Agreement)は、特に教育、福祉などの分野において、政府が政策の執行機関と結ぶ数値目標による契約。ブレア政権が公共サービスの立て直し策として導入。

(2) ラーンダイレクトの再構成

- ラーンダイレクトは、2000年秋の設立当初、設立後5年で財政的に独立した民間セクターの会社になることが目指されていた。ところが、①財政的な自立が困難な状況にあること、②EUの規制の枠組みのなかで民間セクターの会社に政府が支援を続けることができないこと、③国内の事業者から民業圧迫の声が強いことから、サービスの提供スキ

ームが昨年の八月に大幅に見直されることとなった。具体的な変更点は以下の通り。

- ① UfIを公的セクターの会社として位置づけ政策執行機関であるLSC注3からすべての運営資金を受け取ること（これにより教育技能省からの補助金はなくなった）。
- ② 民間との役割分担を計画とするため主たる学習分野は基礎的なもの（市場失敗エリア）とするとともに、学習者の主たるターゲットをNVQのレベル2以下の層とすること。（ランダイレクトの学習者の42%は、NVQレベル2以下の者である。）
- ③ 商業的に提供されていたサービスは切り離し、純粋な民間会社（UfI Solution）として立ち上げること（ただし、民間の出資が集まらないとの新聞報道もありまだ設立されてはいない。）
- ④ サービスの提供は、徹底的に商業的な方法により効率的に行うこと。このためUfIとフランチャイズ契約を結び学習センターを束ねるハブの運営者を地域の公的セクター、学校、図書館、NPO、民間企業等からなるコンソーシアムから純粋な民間会社とし、その数も約600あったものを30程度（地域ごとのハブ23に産業界別ハブが10程度）にまで圧縮した。また、地域ごとのハブの事業者は、入札により一番事業を効率的に運営できるものを選定した。

（注3）LSC(Learning and Skills Council)は、「学習及び技能法2000」により設立された学校後教育の政策の執行機関。2004年度の予算は、£86b（約1兆7200億円）。

(3) ランダイレクトの資金の流れ

- ランダイレクトの運営のための収入は、UfIにLSCから交付される約2億2千万ポンド（約440億円）と学習者の払う講習料であるが、講習料の収入額はまったく明らかにされていない。なお、学習者の支払う講習料は、通常学習センターに支払われるが、全額ハブにより回収される。
- UfIは、自らの運営費（ちなみにUfIの人員規模は350人）を差し引いた額を、それぞれのハブに過去の実績に照らして設定された数値目標に応じて運営費を配分する。
- それぞれのハブは、UfIの交付金と学習センターを通じて得られた講習料を収入とし、自らの運営費を差し引いた額を、各学習センターに過去の実績に照らして設定された数値目標に応じて運営費を配分する。
- 学習センターでは、ハブからの交付金を収入とし、学習相談員等の人件費、建物の維持費、高熱費、通信費などをまかなう。学習センターの収支状況は明らかにしてはいないとのことであったが。収支トントンといったところであるとのこと。

(4) コース

- ラーンダイレクトのコースは、UfIが提供者である。コースは、民間事業者等の製品を採用するもの（そのまま使うもの（Endorsement）と改良して使うもの（Enhancement））とUfIが企画し委託により作らせるもの（Commission）とがある。比率としては、外のが70%で、内製のものは、30%であるが、「生活のための技能（Skills for Life）」など基礎レベルのものを中心とし、その比率を増加させている。また、利用者の視点から言うと、有料のコース（commercial courses）と支援のあるLSC財政支援コース（LSC funded courses）とがある。
- UfIの提供コース数は561であり、その約8割がオンラインで提供されている。この他、パートナーと呼ばれる民間事業者等（BBC、IBM、マイクロソフトなど登録を受けたもの）が提供する約98万のコースがラーンダイレクトを通じて提供されている。ラーンダイレクトのサービス提供においては、これらすべてのコースを区別なく提供することとされている。
- 各学習センターでは、提供するコースを選べるが基本的にはすべてのコースを提供することとされている。見学した学習センターで見せてもらったコースは、数字の勉強のための「フットボール・フィーヴァー」等企画としての工夫は凝らしているが、アニメなどは使わず文字ベースのものだけであった。一方、UfI本部で見せてもらったコースは、フラッシュを使ったアニメによるものであり、学習センターのブロードバンド環境の違いにより使われるコンテンツが違ってくるのだと思われる。ちなみに、見学した学習センターの通信速度は2Mbpsとのことであった。
- コースの選定は、学習者の取りたい資格またはなりたい職業に応じて行われ、ラーンダイレクトの提供するコースの65%が資格の取得の準備にかかわるものであるが、資格はコースを履修することにより自動的に取れるというものではなく、認定試験を受ける必要がある。

(5) システム

- ラーンダイレクトのシステムは、世界で第2位の規模のeラーニングシステム。第一は中国陸軍のもの。
- システムの開発費用は、LMSに5千万ポンド（約100億円）その他アカウント管理等のすべてのシステムを含めて1億ポンド（約200億円）である。また、パッケージとして40%、改良費が60%を占める。
- システムは、安定してきており、ここ4ヶ月24時間の利用が止まったことはない。

(6) 学習相談員

- 一人の学習者に一人の学習相談員がつく。一般のコースは学習センターに駐在する学習相談員が対応するが、専門性の高いコースは遠隔で相談を受ける。
- 自分にあった学習相談員を見つけるためには、学習相談員を登録するデータベースがありそこには2千人が登録されている。
- ラーンダイレクトのコースを途中で止めてしまうものの率は16%であるが、アンケートによるとその最大の原因は「自分の考えていたコースとは違う」という理由であり、学習相談員が当初に行うコース設計が非常に重要であると考えている。

(7) 品質管理

- 学習センターにはALI (Adult Learning Inspectorate) により定期的に入り品質をチェックしている。以前は年1回だったそうであるが今では小さなチェックを頻繁に行うようになってきているとのことであった。
- UfI本部では、専門の部隊を置き、絶えず利用者の満足度調査を行うなど品質の向上に努めている。ラーンダイレクトの利用者の88%がその利用に満足しているとしており、その率は年々高まっているとのことである。

(8) ラーンダイレクトの今後

- ラーンダイレクトについては商業的に実施することは難しいとされており、目標とされる数字が達成されるまで公的な支援により続けられることとなるものと考えられる。
- ただし、ラーンダイレクトが目標の達成のために本当に有効であるかの評価については、今年、会計検査院 (National Auditor) の評価 (Money for Value Assessment) を受けることとなっており、その結果がラーンダイレクトの将来を大きく左右する可能性がある。
- なお、英国では今年5月ごろ総選挙が行われることとなっており、政権の交代もありうるが保守党の党首も教育の重要性を唱っており、ラーンダイレクトの提供にも大きな影響はないであろうとの観測が聞かれた

以下 3.3 から 3.6 まで時系列に概要を報告

3.3 1月12日 (水) BETT教育展示会

3.3.1 展示会の概要

BETT Showは、英国最大のEducational and Training Technologyの学校教育の展示会で、毎年開かれている。今年は、1月12日 (木) ~15日 (土) の期間で場所は、Olympia (ロンドンの西地区) で開催された。

今年のテーマは、” Take Hold of the Future”（未来をつかめ）であった。

このBETT Showは教育展示会としては大きく、550社以上が出展している。また、開会式には毎年、英国教育技能大臣（DfES Secretary of State）のキーノート・スピーチが行われる。参加者は教育関連企業に勤務する者だけでなく、政府関係者や学校の教員も多い。英国だけでなく、世界各国からも参加者が多く、外国人のためのインターナショナル・ラウンジが設けられている。さらに、110以上の講演会やワークショップが開催されている。

また、英国政府はこのBETT展示会に力を入れており、政府の関係機関が大きなスペースをとって展示している。特に教育技能省（DfES, Department of Education and Skills）、英国教育通信技術庁（BECTA, British Educational Communication Technology Agency）、資格・教育課程総局（QCA, Qualifications and Curriculum Authority）、教育訓練機構（TTA, Teacher Training Agency）などの機関の活動に関するプレゼンと種々の調査結果を参加者に提供している。



展示会の入り口



展示会の様子

3.3.2 教育技能大臣の基調講演

Ms. Ruth Kellyは昨年12月にTony Blair 首相によって教育技能大臣に任命された、新任の大臣である。ここに、彼女が行ったBETT展示会での基調講演の概略を報告する。



Ruth Kelly教育技能大臣による基調講演

ICT(情報通信技術)は、われわれが教え、学び、コミュニケーションする方法を根本から変革し、質を向上させる可能性を秘めている。イギリス北部で開かれた教育会議に今月初めに出席したとき、全ての子供に教育機会を与えることが今何よりも重要であると言った。ICTはそれを可能にすると信じている。

この演説で、私は4点を強調したい。まずひとつに、私たちが今まで何を成し遂げたか、次に、ICTがどのようにして教育を改善できるか、第三に、ICTがどのようにして教育をもっとオープンなものにし、人々に教育の機会を与えるか、そして最後に、これらのことをどうやって効果的効率的に行うことが出来るか、の4点に絞って話を進めたい。

その前に、「Moving Young Minds [若者の心を捉えよう]」の国際セミナーに参加してくださった海外34カ国の教育大臣にお礼を申し上げたい。なかにはスマトラ沖地震の被害にあわれた国からいらっしゃったかたもあり、スマトラ沖地震の被害にあった方々にご冥福をお祈りしたい。

さて、最初の点、私たちが今までで何を成し遂げたか、であるが、多くを成し遂げたといえよう。例を二つほど挙げてみると、ひとつには、1998年には平均して小学校にはコンピュータが教室に1台あるかないかであったが、現在では、3人から4人でなるグループに一台はコンピュータがある状態である。また、1998年には学校でのブロードバンドによるインターネットのアクセスなど、多くの学校にとってただの夢であったが、現在では72%の英国の小学校に、99%の中学校に、ブロードバンドアクセスがある。

ある研究によると、ICTの効果的な活用は教育の質を上げる、という結果が報告されている。ますます多くの学校がICTを不可欠のものと考えており、机やいすのように、教室にあるべきものと捉えている。2年前、私が所属していた国務省が「可能性を追求しよう(Fulfilling the potential)」というキャンペーンを実施し、学校におけるICTの活用を促した。その当時、まるでSFのようなシナリオだったことが今は現実のものとなっている。

(ここでShireland Language Collegeの事例を撮ったビデオを見せる。)

私たちが今見たのは、ICTが、教育のあらゆる過程において支援をし、生徒たちにやる気をもたせ、教室外の場所でも学習の機会を与え、個人が自分の学習に関してもっと積極的になるようにする、という場面である。しかしながら、すべての生徒にこのような教育機会があるわけではない。私たちの仕事は、全ての学校を支援し、全ての生徒がこういった教育機会を持てるようにすることである。先ほどビデオで紹介されたShireland Language Collegeは、ICTの効果的な活用により、GCSEでよい成績をとる学生が1998年の28%から2004年の57%と、ほとんど倍増した。

私は、各学校がICTの活用に関して、現在どのような状況にあり、改善には何をしたらよいか、を明確に示すルートマップを提案したい。これに関して、既に、英国教育通信技術庁(Becta)に「完成モデル(models of maturity)」というスローガンでルートマップを作

成するよう依頼してある。また、NAACE¹がBectaと共同で、NaaceMark²を設立したと訊いている。これも、賞賛に値する。現在、NAACEの承諾を経て、このNaaceMarkのような計画を英国全国の学校に向けて推進する予定で、来年にはこの賞を獲得する学校が出てくると予定している。

次に、次年度の優先政策についてお話したい。それは、教育の改善、オープンで使いやすいシステムの構築、効率的・効果的な教育の達成、の3点である。まず、教育の改善であるが、既に、何がグッドプラクティスと呼べるかがわかっているので、それを教育システム全体に当てはめるようにしたい。このプロセスを促進するため、又、学校同士が助け合えるように、専門学校信託 (Specialist Schools Trust) が国家情報技術登録 (National ICT Register) という、情報技術やEラーニングに関して進んでいる学校の情報を掲載したデータベースを作成した。これにより、誰でもICTの活用及びeラーニングに関して先例を見ることが出来、又、ウェブ上で検索すれば、すぐにICTやEラーニング活用の経験のあるものにコンタクトを取ることができる仕組みになっている。

全ての生徒がICTを使って、自分の好きな場所、時間、ペースで自分にあった学習環境で学ぶことが出来るようにすることも、大変重要である。たとえば、WorcestershireやWolverhamptonで行われている仮想職場 (Virtual Workspace) では、生徒がそのシステムを使用するにあたって、その生徒のニーズを登録し、ニーズにあった学習を提供する、ということを行っている。これは、生徒をシステムを中心に考え、その生徒の学習を最適に支援し、オンラインコミュニティを通じて、同じ関心・興味を持つ生徒と交流できるようにしたものである。

このように、われわれは、学校が参考に出来るようなモデルを作ること、そういったシステムが学校間で相互操作を可能とするように、全国的な標準を設定すること、仮想学習環境 (Virtual Learning Environments) や学習コンテンツ管理システム (Content Management Systems) といったような学校全体の教育活動が統合され有効に活用されるようなものを推進しなければならない。

2003年5月にICTが科目教育に有効に使われるような手引きを作成するよう、業界の主要会社に持ちかけた。その結果、それぞれの学年・科目別による典型的活用例をCDに収めたものが出版された。学校におけるこれらの評判は大変よかった。われわれは、これからICTを単なる付加価値と見るのではなく、学校制度に不可欠なものとするべきである。

昨年のこのCDの成功例に倣って、教育技能省は今日「中学校でのICTの活用—科目別パック (Embedding ICT@Secondary-Subject Specific Packs)」の完成を発表する。これは、教

¹ 英国の教育技術業界の団体。詳しくは、<http://www.naace.org/index.asp> を参照。

² ICTを効果的に活用し、教育の質を向上した学校に与えられる賞。詳しくは、<http://www.naace.org/resource.asp?menuItem=18> を参照。

師がどうやって科目教育においてICTを活用することが出来るかを理解してもらう、というのが目的である。

全ての教師に、ICTを使って教育技能を改善できるような機会を与えたい。今日、教師に無料で、レッスンプラン、ビデオクリップ、アニメーション等の研修教材を提供するシステムがこの夏から始まること、を皆さんにお伝えする。さらに、教育技能省が財政支援する Teachers' TVがこの2月8日から開始される。Teachers' TVは衛星放送のチャンネルで無料で配信されるデジタルのテレビチャンネルである。「Teachers' TVを見よう (Get Teachers' TV)」キャンペーンは、学校や教師に衛星放送を申し込む際に割引料金で行えるようにするものである。Teachers' TVは教師のための職業研修、授業のための教材、教育関連のニュースや情報を満載したもので、そのウェブサイトからは番組が無料でダウンロードできるようになっている。

ICTは、学校には来られずにいる子供たちにも教育の機会を与えることが出来る。たとえば、ジブシーの子供たちが巡業のときは、ラップトップコンピュータやデータカードを利用して、学校教育の継続を可能にし、登校拒否の子供たちにはICTを使って自宅で学習が出来るようにする。このプロジェクトの98%以上の参加者が、学校教育を継続でき、卒業証書を得ることができたという。

われわれには、ICTを父兄や市民にも使いやすいシステムにすることを手がけ、それを可能にするいろいろなパートナーの協力を得てきた。Directgovは市民のために全てのオンライン市民サービスを一箇所にまとめたものである。これは、以前よりももっと広く市民にサービスを提供することを可能にし、又、他のチャンネルでは連絡が取りにくい人々にもサービスを提供する機会を与えてくれる。その上、若者や社会人にも学習の選択肢を増やし、Eラーニングの可能性を示すことにも役立っている。

われわれは技術が問題を解決してくれるのを受身的に待つのではなく、技術の可能性を余すところ無く追求すべきである。われわれは、また、学習者や教師のニーズを正確に把握し、それを満たすような技術開発を行うべきである。特に、Bectaは英国において教育におけるICT活用ではリーダー的役割をなす庁であり、教育技能省の政策的パートナーでもあり、David Hargreavesと彼のチームには今後充分にその役割を果たしていただくよう多大な期待を寄せている。

Curriculum Online³ もとても重要であり、現在はBectaの管轄となっている。英国の多くの人たちが、2005年度のeラーニングクレジット (Electronic Learning Credits) の今後の予算配分について疑心暗鬼になっていることと思われるが、これは大変複雑な問題であり、

³ 何千ものマルチメディア教材をデータベース化し、検索可能としたもの。このデータベースには学校が無料で使用できるものと、政府が出すラーニングクレジットによって購入できるものがある。詳しくは、<http://www.curriculumonline.gov.uk/Default.htm> を参照。

早急に決断を下すべきものではないと思われる。しかしながら、この行方が今後2～3年の教育に関する投資パターンに多大な影響を与えるものであることは、充分理解しているので、近いうちに決断を下そうと思っている。

ICTに関する投資は多大なものであり、効率的に資金を運営することが大切である。Bectaはマイクロソフトとの提携で、全ての学校に大幅に減価した価格（昨年までの2割引から3.7割引）でマイクロソフトとのライセンス契約を行えるようにし、そのために3年間にわたって460万ポンドもの節約をした。Bectaはさらに、OSやオフィスソフトウェアでのコスト削減を図るため、ソフトウェア業者に入札を働きかけている。業界は、これを機に、教育改善のためのICT活用の可能性を最大限にするよう努力すべきである。

Bectaは、こういった物品調達での費用節約のみならず、よりよい選択を可能にし、技術的・事務的煩雑さを一掃する物品調達モデルの開発に着手している。

最後に、私が望んでいることは、全ての子供、若者、学習者が、どこにしようとも個人の可能性を最大限に達成できることである。教育を支援するという意味で、新しい学習方法を見出すという意味で、選択肢を増やすという意味で、個人に合った学習環境を造るという意味で、教育を父兄にも可能にするという意味で、ICTは多大な影響力を持っている。ICT関連業界で働く皆さんが、われわれがICTの可能性を追求する手助けをしてくれるのです。皆さんとこれから働くことを楽しみにしています。

3.3.3 グローバル・ゲートウェイ（Global Gateway）について

グローバル・ゲートウェイは、世界の国々との国際連携を深める目的で、教育における国際交流活動に関する情報を一挙に集めたものである。この目的を実行するため、また、グローバル・ゲートウェイをオフィシャルなものにするため、又、グローバル・ゲートウェイの戦略的国際パートナーになってもらうために、各国政府を招待している。現在、31の国際パートナーがあり、様々なレベルでの連携を行っている。

グローバル・ゲートウェイは、2004年2月に教育技能省により設立され、British Councilの管理下にある国際的なウェブサイト（www.glogalgateway.org）である。

世界中の教育機関が創造的な連携を図れるよう手助けをするシステムであり、そのための様々な情報を提供している。ウェブサイトの使用は無料であり、パートナーとなるような学校を見つけたり、国際理解教育の教材などの入手を可能にする。グローバル・ゲートウェイにアクセスするには、コンピュータとインターネット接続が必要なだけである。

戦略的国際パートナーを募集している理由には、国際教育の重要性を各国政府に認めてもらい、それをカリキュラムに組み込んでもらうこと、また、海外の質の高い情報を得ること、等がある。グローバル・ゲートウェイには学校ごとの参加も可能であるが（現に、日本からも二校が既に参加）、文部科学省として、グローバル・ゲートウェイの戦略的国際パートナ

一になれば、国が国際教育の重要性を認め、世界的な連携を形成することが出来、これからのグローバル・ゲートウェイの発展に影響を与えることが出来る。

現在のところ、ターゲットとする教育は高等教育機関を含まないが、将来的には考えている。

3.4 1月13日（木）フォークストーンの学習センター

3.4.1 学習センターの概要



David Foley 校長



語学学習用オーディオテープ

SES(School of English Studies Folkestone) は英語学習を目的とした学校である。SESでは普通の対面授業による教育からオーディオテープによる学習までいろいろな形態で英語を学ばせている。我々が訪問した日にもヘッドセットを身に付けてオーディオテープ学習をしていた。学習コースは大きく5つに分けられており、General Course、Keyman Executive Course1、Master class English、English Vocation Schools とTecher Trainingとなっている。校舎は古風な日本の基準からすればかなり大きめの家2棟を活用しており、古い家具

等が整理されて置かれていた。また、場所はドーバー海峡に面した風光明媚なところにある。

このSESの中にラーンダイレクトの学習センターがあり、二部屋がラーンダイレクト用に使われていた（一つは専用、もう一つは授業終了の16:00以降）。その時にはわずか2名がラーンダイレクトの学習を行っていた。

3.4.2 学習センターの活動



ラーンダイレクト学習室での説明

SESがラーンダイレクトの学習センターとなるきっかけは、7年前にさかのぼる。地元の企業が、「何故SESは世界中のあらゆる人を教育しているのに、地元の人々に対しては何もしないのか」と問いかけたのが、きっかけとなった。そこで、Foley氏は、当時、地元の企業のカスタマーサービスに不満を抱いていたので、5万ポンドを費やして、カスタマーサービス研修プログラムを立ち上げた。その運営に当たってオフサイトの支援が必要であると感じ、そういったことをしているサービスを探してみたところ、当時、始まったばかりのUfi・ラーンダイレクトが見つかった。当時はまだ始まったばかりのUfiであったから、いろいろなフィードバックをUfiに提供することができた。

2001年に2500人の雇用者を持つフランステレコム国際部長を招いて、ラーンダイレクトの関係者と共に、3日間を共に過ごし、ラーンダイレクトを国際化することを協議した。しかしながら、フランステレコムは当時まだ始まったばかりのラーンダイレクトではなく、他の会社を最終的にはパートナーとして選んだ。

ラーンダイレクトの学習センターは全国各地に存在するが、経営上うまくいっているセンターもあれば、そうでないセンターもある。ラーンダイレクトの学習センターになることの財政的利益はあまりない（収支的にトントン）。英国政府は数年前にILA（Individual

Learning Accounts) ⁴というシステムを導入したが、学習者の名前と住所さえ提供すれば、資金を得られるという仕組みで、中にはこの制度を乱用するものも出てきたため、廃止された。

SESはラーンダイレクトの学習センターになる以前は年間5万ポンドの金額を寄付してきたが、そのお金が今では学習センターの運営に費やされていると考えられる。また、従来学生が少ない夏季以外（9月から6月）の施設の有効活用という面でも、よい。

各学習センターは財政的に独立しており、ハブは事務処理のために存在している。学習センターはハブから契約を受け、Ufiは政府から資金を得、ハブはUfiから資金を得、学習センターはハブから資金を得る。学習センターの収入はハブからの資金で、学習者からの受講料は学習センターを通じてハブの収入となる。学習センターは予算配分に関して、せりをおこなわなければならない。それは主に過去の業績によるもので、地域によって学生数に差があるため、予算配分もまちまちである。詳しい財政情報は公的に公開された情報ではないので、ここで公開することは出来ない。

学習センターはLSCが要求する全てのコースを提供しなければならない。それ以外では、学習センター自身が開発制作したコースをラーンダイレクトの枠外で提供することもある。また、企業相手に研修コースを提供することもある。これらのコースは営利コースで、受講料は高くなる。ラーンダイレクトのコースの中で無料で受講できるのは「生活のための技能 (Skills for Life)」のコースのみであり、あとのコースを受講するには学習者はいくらかの受講料を支払わなければならない。

学習センターを運営する際の費用はセンターによってまちまちであるが、その内訳は人件費、施設費、備品費、研修費、保険、税、等、である。意外にも、その中で通信費の占める割合は少ないという。学習者は学習センターに受講料等を支払い、学習センターは学習者から得た受講料等を全てハブに渡さなければならない。ハブはそれぞれ、Ufiの定めた規定範囲内で独自の規律に沿って運営されており、受講料の額等はそれぞれのハブによって決められている。

ラーンダイレクトが提供するコースの品質管理は、ALI (Adult Learning Inspectors) が行っているが、ハブが検査されるのであって、学習センターが直接検査されることはない。以前は2年に一回の検査であったが、最近継続的検査に変わった。

英国の教育制度では、義務教育の最終年（16歳）時に全ての生徒がGCSE (General Certificate of Secondary Education) を受けなければならない、この試験の結果の成績はAからFに分けられ、AからCの結果を得たものは、NVQ (National Vocational Qualification) のレベル2に相当し、DからFの成績を得たものはNVQのレベル1に相当する

⁴ 教育技能省が2000年9月に導入したシステム。2001年5月までには250万もの組織がラーニングアカウントセンターの登録して、資金援助を得た。詳しくは、<http://www.dfes.gov.uk/ila/>

とみなされている。ラーンダイレクトの主要ターゲット層は大学の学位を持たない、中小企業の雇用者、又は、失業者である。

政府の良し悪しは失業率で決められることが多く、失業率を低くすることは、どの政権でも重要課題である。そのために、政府はラーンダイレクトを支援している。ラーンダイレクトのコースのほとんどは、何らかの形で政府の財政支援を受けている。コースはそれぞれ期間・内容等様々であるが、ほとんどのコースがオンライン化されている。Ufiがどのコースを提供するかの決定権を握っている。

学習センターにはそれぞれ学習相談員が存在するが、全国的に政府が雇う学習相談員と地域レベルで学習センターが雇う学習相談員がいる。学習相談員は学校の教師とは違い、免許制ではない。

学習センターにおいて、ビジネスと教育のバランスが難しいところであるが、将来的に、財政自立する計画はない。政府は教育制度の改善を願っており、義務教育制度がきちんと成功すれば、ラーンダイレクトはいらなくなるかもしれない。

3.5 1月14日（金）午前 教育技能省（DfES）におけるUfi/learndirectの説明



Mr. Keith McMaster



Ms. Margaret Bennett

● Ufi の財政

以前Ufiは教育技能省から直接財政支援を得ており、教育技能省がUfiを直接管理していたが、現在はLSC(Learning and Skills Council)を通しての財政支援になっている。LSCは大学等の高等教育機関外での成人（16歳以上の）教育（further education⁵）の財政政策を担当しており、Ufiが教育技能省から直接財政支援を得ていた当初は、LSCと教育技能省との間で摩擦が絶えなかった。その原因には、Ufiに関する資金の多くが教育技能省に行き、教育

⁵ Further education には二通りの意味があり、狭義の意味では高等教育機関を除く16歳以上の教育（職業訓練学校等）であり、広義の意味では大学等も含む16歳以上の教育である。

技能省がターゲットを設定するにもかかわらず、コースを提供するための教材の資金はLSCに行き、又、その教材のための資金はLSCの地域評議会に行き、LSCの地域評議会が地域レベルで教材を購入する、又は、研修業者と契約する、という財政システムになっており、そのため、Ufi自身がUfiの名の下に提供する教育研修の質の管理が難しい、という現状にあった。

そこで、昨年（2004年）8月に今までの財政システムを見直し、従来の教育技能省がUfiに運営費を、LSCに教材費を支払う、というモデルから、もっとシンプルに教育技能省はLSCに全ての予算を提供し、LSCからUfiに必要な予算を提供する、という流れに改善した。それにより、ターゲットを設定するのもLSCになり、教育技能省はUfiのターゲットには直接的には関わらないようになった。

Ufiは設立当初から、公的機関・私的機関の共同体制という従来にはないモデルで始まっており、それに関する困難もあった。特にEUの競争規制に関しては注意を払わなければならない、純粋に商業的な機関ではなく、公的要素を持つUfiは、公平な競争という意味で大変難しい立場にあった。又、Ufiの設立当初はドットコムのブームの時でもあり、Eラーニングにより膨大な利益が得られるものと予想していたが、実際に立ち上げてみると、商業利益が得られるような部分は大変小さかった。

Ufi Solutionの設立によって、Ufiも他の私的商業教育機関と対等に競争しなければならなくなったが、Ufi Limitedは公的機関として国の補助の下に運営されることを公にした。Ufi Limitedに対する国の補助金は徐々に減少している傾向にあるが、反対に、学習教材に費やす国の補助金は増えている。Ufi設立当初に謳われた5年後の財政的自立は達成されることはなく、当初と比べると運営費に関する補助金は半減したものの、Ufiの財政的自立はありえない状態である。現在、教育技能省にとってUfiは他の大学と同じ扱いである。

LSCの年間予算は90億ポンドであり、約20～30億ポンドが19歳以上の教育にいき、残りの60～70億ポンドが16～19歳の教育に費やされる。そのうちの2億ポンドがUfiに行く。（大体、平均的な大学5～10校の予算に相当する。）その中でEラーニングの開発のために費やされた金額は昨年で約6000万ポンドであるが、その主なものはブロードバンド接続費等のインフラ費や、職員研修、研究開発等であり、教材開発そのものに費やされることはほとんどない。

教育技能省は企業や大学に教材開発を行うように働きかけており、政府が教材開発に直接関わらないようにしている。Ufi自身は教材開発はほとんど行わず、既存の教材を購入する場合が多いため、eラーニング業界に大きな影響力を持ち、Ufiの本社があるSheffieldは、今や英国でのEラーニングのメッカとなっている。UfiはEUの厳格な入札ルールに基づいて、教材開発会社の入札を行っており、ライセンス契約により、開発費用をまかなっている。

● Ufi の組織

財政的な混乱を避けるために、Ufi Solution（当初Ufi2と呼ばれた）を昨年8月に設立した。Ufi Limitedは公的組織であり、その上にUfi charitable trust（公益信託）をおいた。

Ufi Solutionは私的商業機関であるが、その利益は全て、親組織であるUfi Charitable Trust (Ufi 公益信託) に行く。

● 公的機関としてのUfi

Ufiは公的機関としてmarket failure (商業的には成り立たない対象) に対する義務があり、それに関する規制も多々ある。したがって、Ufi Solutionが利益を得ても、それはUfi Charitable Trust (Ufi公益信託) に還元しなければならないようになっている。毎年market failureに関する評価がなされ、どこのセクターにどれだけの予算を配分するかが決められる。そのため、Ufiは利益とは決してならない教育研修サービスを提供しなければならない義務があり、それに関する質の保証も国によって厳しく管理されている。

ターゲットとして、2010年までに大多数の16歳以上の国民を少なくともNVQ (National Vocational Qualifications) レベル2⁶ (5 General Certificate for School Educationレベル) まであげることと、としている。調査によると、NVQレベル2を達成すると、雇用先もその雇用者に対して研修に関する投資をする傾向があるし、本人も、より学習機会を求めようになる、という結果が出ている。NVQレベルの他にも、いくつかの業種別の資格等をベンチマークにしている。

● Ufi の規模

Ufiは年間50万人の受講者を持ち、世界で中国陸軍に次ぎ二番目に大きな教育研修提供機関である。以前は、あらゆる種類の講座を提供していたが、現在は、ラーンダイレクトというブランド名のもとに、基礎学力向上 (特に読み書きがNVQレベル2以下の成人を対象とする) の講座を強化することに力を入れている。(モーゼ報告によると、700万の英国国民が読み書きに問題がある、という。)

コースのほとんどが短期終了講座であり、学位を授与することはない。UfiはUniversity for Industryという名で始められたが、学位を授与することがないのに大学 (University) と呼ぶのはおかしいという批判の声が高まり、ラーンダイレクトというブランド名を作り出すことにいたった。イギリスのみならず、ウェールズ、北アイルランド自治区にもラーンダイレクト支部があるが、最近、北アイルランド自治政府がラーンダイレクトの財政支援から手を引く意図を発表。

スコットランドにもUfiがあるように、Ufiは英国全土の組織であるが、それぞれの自治政府の管理下にあり、それぞれで行われているUfiの内容は多少異なっている。

● Ufi のハブ

イギリス全土で2000の学習センター、30のハブがある。学習センターはハブによって管理されており、ハブはUfiとフランチャイズ契約をしている。地域によるハブのみでなく、建

⁶ NVQのレベル4は高等教育レベルであり、レベル3は18歳レベル、レベル2は16歳、レベル1は単純作業が行えるレベルである。(詳しくは<http://www.dfes.gov.uk/nvq/what.shtml> を参照)

築業・製造業といった業種別のハブも存在する。Ufi自身はコースを提供せず、ハブがコースを提供している。ハブは政府が定めるmarket failure（商業的には成り立たない対象）のためのコースを全て提供する義務があるが、それ以外では、提供するコースの種類は自由に選択できる。しかしながら、政府が定めたコース以外のコースの提供は、提供先の個人及び企業から直接費用を請求しなければならない。こういったコースは、ハブや学習センターの利益となるため、政府は積極的にこういった事業を行うよう進めており、将来的には、収入の3分の1がこういった利益からまかなえるようにしたい。

● Ufi のコース

Ufiが提供するコースには2種類ある。

- ▶ ひとつは、LSC が予算援助をしているコースと
- ▶ もうひとつは、会社が支払う営利コースで、Ufi Solution のみが提供できる。それには通常、Ufi Solution が Ufi Limited からライセンス使用許可を購入しなければならない。

● Ufi の業績

毎年50万から100万ほどのコールがあり、UfiのWebsiteは約400万のヒッツが毎年ある。Ufiに電話をかけてきた人の79%が実際に6ヶ月以内にラーンダイレクトのコースを履修している。電話をかけてくる人に対し、対面での相談も学習センターで受け付けることを紹介。Ufiのデータベースには全国約98万ものポスト16教育の講座が登録しており、科目名、地域名その他、なりたい職業、取りたい資格等、から検索できるようになっている。

Ufiはマイノリティ（少数民族）の対応にも力を入れており、英語以外五ヶ国語もの言語にも対応できるスタッフをコールセンターにおいている。Ufiのアドバイスサービスでは、Ufiが提供する講座のみならず、他のプロバイダーの講座も公平にアドバイスしている。しかしながら、実際の講座登録は行わない。コールセンターのアドバイザーは全てキャリアアドバイザーの資格を持ったものである。

● Ufi の今後

大学と提携してEラーニングを実験的に提供したところ、反応がよかった。16歳以上の層のみならず、14歳から19歳の若者で、既存の学校という制度にとらわれなく学習を出来る機会を得たい、というニーズがある。しかし、あくまでもUfiは高校や大学のように学位を与える機関ではありえない。

● ポスト 16 教育に関する他の政府主導型の政策

英国国務大臣ゴードン・ブラウンは、全国雇用先研修プログラム（National Employer Training Program）で、雇用者に対して職務上どのような技能が必要なのかを明確にし、そういった技能を雇用者が獲得するための研修に関する支援を行うことを義務付けた。NHS Universityは医療関係の職業につくことを希望する人、技能を伸ばしたい人を対象に2003年

秋に設立されたものであり、他にも、大企業と連携して雇用者の技能レベル、一般教養レベルを向上させるためのいくつかのプログラムがある。

政府のポスト16教育に関する予算のほとんどが、16歳以上の国民の技能レベルをNVQレベル2にすることに、配分されている。ラーンダイレクトの主な義務も、16歳以上の労働者に教育機会を与えるところにある。Open University (OU)は、ポスト16教育ではなく、高等教育機関であり、2010年までに大学進学率を50%にするように、とのターゲット達成のために努力している。

3.6 1月14日（金）午後 Ufi/learndirect本部でのUfi/learndirectの説明



Mr. Adrian Beddoas (PR Executive)

● Ufi の組織

Ufi全体を公益信託 (charitable trust) として、Ufi公益信託の持ち株会社としてUfi Limited を設立。Ufiの傘下にUfi Limited という公益信託の組織とUfi Solution (又の名をUfi 2という) という私的セクターの会社を設ける。Ufi Limited は公的セクターであり、国の補助金によって、営利的には成り立たない対象 (market failure) に対して教育支援を行うことを任務としており、Ufi Solution は企業を対象に営利を前提にして教育サービスを提供することを計画している。

● ラーンダイレクトの経緯

1997年に発表されたモーゼ報告は、700万の英国国民が読み書きに問題があることを指摘し、英国に衝撃をもたらした。これを機に、当時の教育大臣が、情報通信技術、主にインターネットを使用して教育を行う企業大学 (University for Industry) の構想を練り始めた。それは、1997年の教育白書に明確に示され、生涯教育の重要性をその中で謳った。

1997年の労働党の選挙におけるmanifest pledgeでは、教育に費やす国の予算の増加、University for Industryが、Open Universityと共同で、新情報通信技術であるインターネットを活用し、公的機関と民間企業のパートナーシップにより、成人の基礎学力の向上およ

び生涯学習の機会増大に努めること、を謳っている。そういった意味では、当初からラーンダイレクトは政府高官の支持を得ており、労働党はラーンダイレクトを大変誇りに思っていることが、Ufi関係の人から聞かれた。当初の名前、University for Industry, は、学位を与える機関ではないにもかかわらず大学(University)という語が入っている、ということで問題となり、名前をUfiと変更。

1998年にUfi Limited が設立され、イギリス、ウェールズ、北アイルランドにおける公的セクターと民間セクターの共同でまかなわれる有限会社として、発足した。(2005年1月に北アイルランドはUfi Limitedの財政支援を停止することを表明。)

● ラーンダイレクト・Ufi の組織構成

Ufi Limited はSheffieldに本部を置き、11の支局を持つ。Ufi Limitedは総勢約350名のスタッフをかかえるが、その半分はSheffieldの本部で勤務している。Ufi Limitedが提供するインターネットをベースとした教育支援サービスのブランド名がラーンダイレクト(learndirect)である。

● ラーンダイレクトの実績

UK Onlineセンター⁷を合わせると8000の学習センターがあり、そのうちの2000ほどがラーンダイレクトの学習センターで、北アイルランドに約30、ウェールズにも約30ほどのセンターがある。2000年10月からラーンダイレクトで利用されたコース数は329万で、これまでのラーンダイレクトのコース登録者総数は143万人ほどである。

ラーンダイレクトの全国電話アドバイスサービスの総コール数は6,549,362(週間平均約30,000コール)である。ラーンダイレクトのコース総数は553で、ラーンダイレクトのウェブサイトのヒット数は13,119,791。

市場調査では87%のラーンダイレクトのコース履修者が満足しているという結果がでてくる。

20%の学習者が何らかの形で雇用者の支援を受けている。

● ラーンダイレクトの3つのブランド

➤ Learndirect advice line

電話による無料のアドバイスサービスで、200名ものアドバイザーが登録されており、ラーンダイレクトが提供するコースのみならず、英国全国975,450コースのデータベースにより、学習者にあったコースをアドバイスしたり、経験学習(experiential learning)による単位・資格習得を可能にする。

➤ Learndirect business

企業を対象にオンライン・トレーニングサービスを提供する。

⁷ UK Onlineはインターネット等のアクセスが不可能もしくは困難な人々を対象にした政府主導型の支援サービスであり、そのセンターは主に公的ビルおよび図書館などに設置されている。

➤ Learndirect courses

ラーンダイレクトが提供するオンラインコースの登録・提供のサービスと学習センターによる教育支援サービスを提供する。

● ラーンダイレクト成功の秘訣

➤ マーケティング

多大な費用と時間が、最適なブランドを作り上げることに使われた。

➤ 支援サービス

◇ 最初の学習者個々に対する評価、コース登録指導が学習過程を成功に導くための鍵であるという認識から、主に学習センターを通しての電話や対人による全国学習アドバイスサービスに力を入れている。

◇ ラーンダイレクトに登録した学習者に対しては学習センターが支援サービスを提供する。

◇ 個別化された学習プランの指導を行っている。

◇ 全国2000人の学習相談員を登録するデータベースによる全国学習相談員・サービスと学習センターの学習相談員が存在する。(海外にも学習相談員は存在)

◇ 自宅からの電話、インターネットチャット、メールによるコース履修

◇ こういった支援サービスのおかげか、学習者の履修終了率は約70%という高い率を収めている。

◇ オンラインコミュニティもあり、学習者は興味・関心にもとづいて他の学習者とオンライン上で交流を図れることも、学習者の満足度を高めている。

➤ 情報通信システム (ICT) (後ほど説明する)

➤ コンテンツ配信

◇ 88%のコースがオンライン化されており、残りはCDや印刷物という形で存在している。

◇ コースは、民間事業者等の製品をそのまま採用するもの (Endorsement)、改良して使うもの (Enhancement)、とUfiが企画し委託により作らせるもの (Commission) とがある。

◇ 70%のコースがUfi以外のコンテンツプロバイダーによるもので、ライセンスによりコースを提供 (Endorsement) であり、30%のコースがUfiが制作または委託制作させたもの (Commission) である。(過去4年間で150コースあまりを制作または委託制作した。

◇ 全てのコースがLearning Support Environment (LSE) のプラットフォームで作成されており、ラーニングダイレクトのコースは全て、見た目、ナビゲーションの仕方等を標準化している。

- ◇ 全国レベルでのコースの標準化が今大きな議論になっている。
- ラーンダイレクトが提供するコースの主な内容
 - ▶ 情報通信技術（ICT）
 - ◇ ユーザーとしてのレベルの教育と専門家レベルの教育のコースがある。
 - ▶ ビジネスと経営
 - ◇ 会計、時間管理、財政、マーケティングプランの作成方法、ビジネスプランの作成方法、等。
 - ▶ 生活のための技能（Skills for Life）
 - ◇ 読み書き、算数等、ラーンダイレクトが最も力を入れている基礎学力をつけるための教育。
 - ▶ 業種別
 - ◇ 自動車業界、マルチメディア業界、医療関係、農業、など、業種別の教育・研修で、Commission により作成されたものが多い。
 - ▶ 顧客別
 - ◇ ある特定の会社から受注し、オンライン研修を行うもの。

- ラーンダイレクトの学習センター

「全国的に考え、地域的に行動に移す（Think nationally, act locally）」をスローガンに各地域の学習センターに同じロゴ・デザインを導入し、イメージの統一をはかっている。同時に、学習センターでは地元のニーズを反映するようにしている。人々が来やすい場所であることが大切であるため、多くの学習センターがショッピングモールやコミュニティ・センター（公民館）等内に設置されている。

地域レベルで学習センターを統括管理するのがハブでHOPESと呼ばれており、Ufiとは契約関係で運営されている。たとえば、Sheffieldにある25の学習センターはSheffield HOPESによって管理されている。HOPESは既存の組織でもありうるし、新規に設立されるものでもありうる。HOPESがどの組織を学習センターにするか、の決定権を握っている。

政府が直接に学習センター設立のために資金援助することはない。契約という形で既存のインフラを効果的に活用できたことが、ラーンダイレクトの成功のひとつの鍵でもある。パートナー方式により、既存の機関を学習センターに設定することがほとんどである。

Ufiは学習センターと直接契約を結ぶのではなく、HOPESと契約を結び、HOPESがどこを学習センターにするかの決定権を握り、学習センターの数は地域によって異なる。ラーンダイレクトは全国でよく知られており、その学習センターになりたがる組織はたくさんある。ラーンダイレクトのコースにアクセスするのは学習センターのみならず、UK Onlineセンターからもアクセスができる。

全国で23のHOPESが存在する。地域別のみならず、建設・看護医療・自動車等の業種別の

HOPESも10ほど存在し、業種別のHOPESに関してはSector Skills Councilが決定する。地域別HOPESに関しては、どのような組織でもHOPESになる応募をすることができる。ほとんどのHOPES応募者は営利会社である。

● ラーンダイレクトに対する国からの財政支援

現在、Ufi又はラーンダイレクトに関する財政支援は全てLSCから来るようになっている。LSCは英国の成人教育に関する予算の全てを握っており、昨年度は80億ポンドの予算であった。そのうちの2億から2.3億ポンドがUfiに配分された。予算配分からすると、UfiはLSCが財政支援する機関のなかで最も大きいとは決していえないが、学生数では英国で一番大きな教育機関である。国務省はPSA (Public Service Announcement) により数値ターゲットを設置し、LSC(Learning and Skills Council)が国からくる予算の配分を行っている。政府補助金の80%はLSCのターゲット (すなわちHOPES) に行き、残りの20%はUfiの判断で費やしてもよい。Ufiに配分される2億ポンドのうち、約4000万ポンドがUfiの運営費・研究費・普及促進費等としてUfiで費やされる。

3.6.1 普及促進活動



Mr. Martin Hinchcliffe (Brand Manager)

ラーンダイレクトにとってブランドイメージは大変重要なものであり、ラーンダイレクトのブランドイメージは学習センター、マーケティング、広告・宣伝、ウェブサイト、全ての面で統一化するように心がけている。

ラーンダイレクトには、ラーンダイレクトと全国学習アドバイスライン、という二つの柱となるサービスがある。ラーンダイレクトは全国的なEラーニングのネットワークであり、前述されたように、2000余りの学習センターと500以上のコースからなっている。全国学習アドバイスラインは英国3箇所に主要コールセンターを抱えており、電話をかけてきた人に無料でアドバイスを提供している。この全国学習アドバイスラインはラーンダイレクトのブランドのもとに活動を行っているが、ここでは、学習者のニーズ・適性に合わせて公平なコ

ース推薦を行っており、BBC, Channel4, Skills for Media等、Ufiのパートナーのコース等総勢約980,000ものコースがデータベースに入っており、ランダイレクトのコースだからといって特別に推薦するようなことはなくすべてのコースを公平に扱う。このアドバイスラインの費用は1コール（ただのコールではなく、コールによりランダイレクトの履修者となった場合のみ）に対して、約17ポンド（運営費全てを含む）である。

2000年10月の立ち上げ以来、現在78%の人がランダイレクトを聞いたことがある（prompted）といい、16%の人が、Eラーニングの主なプロバイダーとしてランダイレクトの名をあげている（unprompted）ことが、市場調査でわかった。60人の英国人のうち1人がランダイレクトのコースを履修したことがある、といい、30人に1人の英国労働者がランダイレクトのコースを履修したことがある、といっている。

ランダイレクトのマーケティングを計画するにあたって、（1）学習に全く興味の無い人、（2）教育制度に飽き飽きしている人、（3）学習することを重要であるとみなさない人、（4）学習に関して自立している人、（5）学習はしたいが、家庭・仕事などで、時間が作れない人、（6）仕事に夢中人、（7）教育熱心な人、の7つのグループを想定し、それぞれのグループに向けて、普及促進活動を行った。マーケティング（普及促進活動）に費やす予算は年間1300万ポンド程である。

3.6.2 運用システム



Mr. Robin Jeeps (Web Manager)

ランダイレクトのコースのほとんどがオンライン上にあり、そういったコースの稼働状況が心配なところであるが、過去5ヶ月では100%の稼働率であった。ランダイレクトのプラットフォームとなっているLSMは既存のものを改造したものである（40%は既存の部分、60%はUfi独自で改造した部分）。というのも、基となった既存のパッケージは、もともと

LANのために作られたもので、それをインターネット仕様に改造するのに、時間と費用がかかったのである。

1 コースには平均10ほどのモジュールがある。ほとんどのコースがFlashを使っており、ローカルのコンピュータにコース全てがダウンロードされることはない。コースを学習していくにしたがってテストが行われるが、成績がつけられることはない。コースの学習者の評価の仕方はコースによってまちまちである。

コース教材の作成にあたっては、Ufiが仕様書を作成し、業者に入札させ、選択された業者に作成を委託する、という形を主にとっている。そうして制作されたコース教材の著作権はUfiにある。Ufiは24時間のヘルプサポートラインを提供し、技術的に問題のあった場合は、そちらに電話をし問題解決を図ることが可能である。また、コミュニケーションには同期・非同期のものがある。

教育技能省は700もの職に必要な技能のリストを作成し、ラーンダイレクトのアドバイスラインもこのリストにのっとしてアドバイスを提供している。就きたい職を選ぶことによって、どんなコースを履修したらよいかをアドバイスできるようなシステムになっている。

システム開発（LMS・ウェブサイト開発・データベースの作成、等）には3～4年間で約5000万ポンドを費やした。

この調査のためにUfiにデモのアカウントを作成してもらった。ラーンダイレクトのコースにアクセスするにはwww.learnndirect.co.ukを開き、「login to your learning」のボタンをクリックする。デモを見る場合にはUsernameを「moriookabe」と入力し、Passwordを「japan2005」と入力する。

3.7 ラーンダイレクトのコースと最近の調査結果

今回の調査は英国における現地調査が主な目的である。しかし、我が国の今後の展開を考える場合に、ラーンダイレクトの現状を整理しておくことも重要である。ここでは簡単に概要を以下に説明する。

3.7.1 ラーンダイレクトが提供する学習コース

現在、ラーンダイレクトがour courseとして提供している学習コースをWebページで調べると、482コースある。これは、以下のように分類されている。これから分かるように、ビジネス経営関係が186コースと最も多い。また、生活のためのスキルが148コース、そして、IT関係が基礎コースと専門コースを合わせて115コースある。さらに、フランス語、ドイツ語、スペイン語を学べる語学コースが33コース提供されている。なお、これらのコースの名称を参考までに付録に示した。

home and office IT	70コース
specialist IT	45コース
business and management	186コース
languages	33コース
skills for life	148コース

また、ラーンダイレクトには有料なbuy a learndirect courseがあり、以下に示すように合計で146コースある。

home and office IT	39コース
specialist IT	2コース
business and management	91コース
languages	14コース

このbuy a learndirect courseに前述のour courseを加えると628コースがラーンダイレクトのコースである。

3.7.2 ラーンダイレクトの現状調査の結果

ラーンダイレクトの現状調査がWolverhampton 大学等で実施され、ICT and Employability: A Case Study of Clients using UK Online Centers というタイトルで2004年に教育技能省から報告が出されている。この調査は英国内の10の学習センターにおける学習者を対象にインタビューをした結果をまとめたものである。インタビューは3回行われ、第1回が81名、第2回が222名、第3回が84名である。17名は3回インタビューを全て受けており、調査時の違いを調査している。この調査結果からラーンダイレクトの現状を知ることができるので、その要点を以下に説明する。

(1) センターで学ぶ理由

調査対象の学習者の中で、ラーンダイレクトで学べば全てが就職できるわけではない。例えば45%は調査時において職業についていない。

次に、ラーンダイレクトの学習センターに来て学ぶ理由は以下のようなものである。これからわかるように就職を目指して学習している者が約半数である、また諸センターにはインターネットに接続されたコンピュータがあるので、それを使うために学習センターへ来る者も多い。

表1 センターに来る理由 %

支援やアドバイスを受けるため	17.6
就職の見通しをよくするため	50.9
コンピュータ授業に出席するため	54.0
コンピュータを使うため	22.1
Webで調べたりメールをするため	42.3
つき合いから	5.4
その他	19.4

このようにコンピュータを使うために学習センターに来ているものが多いことから、自宅でコンピュータやインターネットが使えるかという質問をしているこの結果に関しては、表2となる。この表から分かるように、43%の人が自宅にコンピュータとインターネットがあり、使える状況である。しかし、半数以上が自宅ではインターネットが使えないので学習センターに来て学習したり、調べたりしている。したがって、学習センターを各地に設けるということは別の意味での意味がある。

表2 自宅の環境 割合%

自宅にコンピュータがない	38.7
コンピュータはあるが、インターネットはない	18.0
コンピュータもインターネットもある	43.2

また、全体の学習センターに来ている35%が第3回インタビューまでにICT資格を取得している。また、50%は継続的学習をしている。

次に前述のように、ラーンダイレクトで学習しても就職できない場合もある。そこで就職に対する障害を調査した結果が表3である。この表に示すように就職の問題はラーンダイレクトでの学習だけで可能というわけではないことが分かる。

表3 就職に対する障害

項目	割合%
他の世話をしなければならない	27.6
高齢すぎる	23.1
交通の便の悪さ	34.6
経験不足	30.1
自信がない	31.2
その他	24.7

ラーンダイレクトを利用している年齢層を表4に示す。この表から分かるように30歳以上の者が多く、約6割となっている。これから、ラーンダイレクトの対象は若者よりも社会人が主である。

表4 利用者の年齢

年齢層	割合%
16歳未満	20.2
16～19歳	4.9
20～29	11.6
30～59	41.5
60～74	13.3
75歳以上	7.6
全英平均	38.6

3.8 おわりに

以上本報告では、1月に英国への訪問調査した結果等によって、英国が推進しているラーンダイレクトの現状をまとめた。

付録： ラーンダイレクトのコース一覧

home and office IT (70 courses)

Basic Computing (5 courses)

Switch On

Surf.direct (CD ROM)

Using Your Computer (IT For Life)

Using Your Computer - Level 1

Using Computers (9 courses)

Introducing Computers (MS 97)

Introducing Computers - Level 2 (MS 2000)

Using a Computer With MS Windows 2000 - Level 2

Using a Computer with MS Windows XP - Level 2

The Complete Desktop Tutor (MS 97)

The Complete Desktop Tutor - Level 2 (MS 2000)

The Complete ECDL

Create Manage and Integrate Files - Level 2 (MS 2000) (Online)

Create Manage and Integrate Files - Level 2 (CD ROM and Workbook)

The Internet and e-mail (10 courses)

Surf.direct (CD ROM)

Surf.direct (Online)

Electronic Communication - Level 1

Introducing the Internet (EP) (MS 97)

Electronic Communication - Level 2 (MS 2000)

Electronic Communication Using MS Outlook - Level 2 (MS 2000)

Electronic Communication using MS Outlook - Level 2 (MS 2002)

Electronic Communication Using MS Outlook - Level 2 (MS 2003)

Electronic Communication using MS Outlook - Level 3 (MS 2000)

Electronic Communication using MS Outlook - Level 3 (MS 2002)

Word Processing (12 courses)

Word Processing (IT For Life)

Word Processing - Level 1

Desktop Publishing - Level 1

Introducing Word Processing (MS 97)

The Keyboard A-Z (KAZ) - learn to touch type in just 90 minutes!

Word Processing - Level 2 (MS 2000)

Word Processing Using MS Word - Level 2 (MS 2000)

Word Processing using MS Word - Level 2 (MS 2002)

Word Processing Using MS Word - Level 2 (MS 2003)

Word Processing using MS Word - Level 3 (MS 2000)

Word Processing using MS Word - Level 3 (MS 2002)

Word Processing Using MS Word - Level 3 (MS 2003)

Spreadsheets (9 courses)

Spreadsheets - Level 1

Introducing Spreadsheets (MS 97)

Spreadsheets - Level 2 (MS 2000)

Spreadsheets Using MS Excel - Level 2 (MS 2000)

Spreadsheets using MS Excel - Level 2 (MS 2002)

Spreadsheets Using MS Excel - Level 2 (MS 2003)

Spreadsheets using MS Excel - Level 3 (MS 2000)

Spreadsheets using MS Excel - Level 3 (MS 2002)

Spreadsheets Using MS Excel - Level 3 (MS 2003)

Databases (8 courses)

Databases - Level 1

Introducing Databases (MS 97)

Databases - Level 2 (MS 2000)

Databases Using MS Access - Level 2 (MS 2000)

Databases using MS Access - Level 2 (MS 2002)

Databases Using MS Access - Level 2 (MS 2003)

Databases using MS Access - Level 3 (MS 2000)

Databases using MS Access - Level 3 (MS 2002)

Presentations (6 courses)

Presentations - Level 1

Introducing Presenting Information (MS 97)

Presentations - Level 2 (MS 2000)

Presentations Using MS PowerPoint - Level 2 (MS 2000)

Presentations using MS PowerPoint - Level 2 (MS 2002)

Presentations Using MS PowerPoint - Level 2 (MS 2003)

Web Design (9 courses)

Introduction to Working with HTML

Introduction to Website Design with Macromedia Dreamweaver 4

Introduction to Web Animation in Macromedia Flash 5

Introduction to Macromedia Fireworks 4

Web Publishing - Level 1

Web Publishing Using MS FrontPage - Level 2 (MS 2000)

Web Publishing using MS FrontPage - Level 2 (MS 2002)

Web Publishing using MS FrontPage - Level 3 (MS 2000)

Web Publishing using MS FrontPage - Level 3 (MS 2002)

Project Management (1 course)

Using MS Project

Desktop Publishing (2 courses)

Desktop Publishing - Level 1

Introduction to Using Adobe Acrobat 5.0

Digital Photography (2 courses)

Introduction to Using a Digital Camera

Introduction to Photo-editing using Adobe Photoshop 6.0

specialist IT (45 courses)

Web Development (6 courses)

Design e-Learning

Building a Web Presence with Frontpage 98

An Introduction to JavaScript

Implementing an Internet Presence (Using MS IIS 4.0)

Building a Web Presence with MS Front Page 98

E-Commerce (3 courses)

The Business of e-commerce

An e-Commerce Primer

Successful Strategies for e-Commerce

Internet Security (6 courses)

Internet Security: An Introduction

Internet Security: Secure Communications

Internet Security: IBM Solutions

Internet Security: NetWare Solutions

Internet Security: NT 4.0 Solutions

Internet Security: Cisco Solutions

Networking and Internet Technology (7 courses)

Technical Support for ICT Networks

Networking Essentials

Advanced Technical Support for ICT Networks

Networking Support for ICT - Hardware Fundamentals

Networking Support for ICT - Networking Fundamentals

Networking Support for ICT - TCP/IP on MS NT4

Networking Support for ICT - Data Transmission Security and Integrity

Supporting PCs and Networks (13 courses)

Microsoft Windows 2000 Administration

Software Fundamentals for ICT Support (Windows 2000)

Technical Support for ICT Systems (A+ 2003)

An Introduction to Linux

IT Troubleshooting and Preventative Maintenance for ICT Support (A+ 2003)

Linux for Advanced Users

Hardware Fundamentals for ICT Support (A+ 2003)

OS Fundamentals for ICT Support (A+ 2003)

Technical Support for ICT Systems

Technical Support for ICT Systems - An Introduction to PCs

Technical Support for ICT Systems - PC Operating Systems

Technical Support for ICT Systems - Supporting PC Hardware

Supporting Microsoft Windows 2000

Programming and Software Development (10 courses)

C++ Programming - Foundation

C++ Programming - Introduction

C++ Programming - Advanced

Open System Standards

Introduction to the Personal Software Process

MS Solutions Architectures: Analysis Techniques

MS Solutions Architectures: Design Techniques

Programming Computers: An Introduction
Principles of Object Oriented Programming
Object Oriented Analysis and Design

business and management (186 courses)

Business Running/Growth (13 courses)

Plugging ICT into Your Business
Organisational Culture
Putting Your Business On The Web
European/International Context
Recruiting and Keeping Staff (PC)
Performance Indicators
Marketing: Unleashing The Potential Of Your Business (PC)
Make Or Break - Growing Your Business
Introduction to Management & Organisations
Operations and Process Management
Supply Chain Management
Organisational Context
Economic Environment

Business Start-Up (2 courses)

Setting Up Your Own Business
Make or Break - Starting Your Business

Change Management (7 courses)

Change Management
Continuous Improvement
Planning Change
Promoting Change
Implementing Change
Forces for Change
Managing the Consequences of Change

Complying with the Law (15 courses)

Your Business and the Law
Understanding Health and Safety
Equal Opportunities

Health & Safety - Law & Practice
How to stay safe and healthy at work
Preventing Accidents
Health and Safety
Equipment
Employment Law
Security
Company Law
Premises Law
Consumer Law.
Insolvency Law
Your Business And The Environment

Customer Care (16 courses)

Taking Care Of The Customer
Helping customers with learning difficulties
Customer Care For People With Disabilities
Caring for your Customers
Helping customers with physical disabilities
Creating a Customer Focused Team
How Disability Aware are You?
Customer Service Skills
Do you discriminate?
Understanding Customers
How accessible are your services?
Questionnaire Design And Analysis
Helping deaf and hard of hearing customers
Helping visually impaired customers
Helping customers with language difficulties
Helping customers with an unusual appearance

Finance & Cash Flow (11 courses)

Finance - Getting Business Finances Straight
Managing Household Budgets
Finance for Non-Financial Managers
Introduction To Bookkeeping With Sage Line 50

Financial Skills for Non-Financial Managers
Cash Accounting For The Small Rural Business
Cash Is King
Financial Environment
Cost-Benefit Analysis
Understanding Costs
Working To A Budget

Information Technology (4 courses)

Plugging ICT into Your Business
Putting Your Business On The Web
Word Processing
IT Applications

Management (112 courses)

The Complete Manager (26 courses)

Managing Your Personal Development
Managing Team and Individual Performance
Change Management
Introduction to Management & Organisations
Presentation Skills
Effective Meeting Skills
Training and Developing Others
Operations and Process Management
First Steps in Coaching
Supply Chain Management
Information Management
Building Effective Relationships
Motivating Yourself and Others
Creating and Managing Teams
Handling Conflict in the Workplace
Delegation and Empowerment
Recruitment and Selection
Interviewing Skills
Creating a Customer Focused Team

Finance for Non-Financial Managers
Managing Your Personal Effectiveness
Health and Safety
Quality and Continuous Improvement
Effective Decision Making
Effective Business Writing
Effective Problem Solving
Managing People (33 courses)
Introduction to Management & Organisations
Coaching
Effective Meeting Skills
Meetings
Planning Development
Great Communication Skills
One-to-one Communication
Assessing Performance
Objectives
Supporting Individuals
Managing Performance
Building Effective Relationships
Motivation
Interpersonal Skills/Trust
Leadership
Briefing Skills
Maintaining Discipline
Managing Diversity
Resolving Conflict
Building the Team
Communication Process
Delegation
Giving and Receiving Feedback
The Trainers Toolkit
Training and Developing Others
First Steps in Coaching

Motivating Yourself and Others
Develop Your Leadership Skills
People Managers Toolkit
Creating and Managing Teams
Handling Conflict in the Workplace
Delegation and Empowerment
Managing Team and Individual Performance

The Practical Manager (78 courses)

Identifying Self Development Needs
Briefing Skills
Producing Project Reports
Information Awareness
Motivation
Influencing/ Negotiating
Leadership
Financial Environment
Minimising Stress
Organisational Context
Planning to Recruit
Managing Diversity
Selecting the Right Person
Economic Environment
Working To A Budget
Organisational Culture
The Environment
Statistical Process Control
Statistical Process Control, or SPC, allows a manager to constantly
monitor Maintaining Discipline
Resolving Conflict
European/International Context
Ethics In Business
Marketing
Continuous Improvement
Communication Process

Planning Change
Communications Media
Promoting Change
Non-Verbal Communication
Implementing Change
Giving and Receiving Feedback
Forces for Change
Meetings
Managing the Consequences of Change
Cost-Benefit Analysis
One-to-one Communication
Word Processing
Gathering Valid Information
Analysing Information
Practical Manager - Full Certificate - Learning Programme Builder
Time Management
Self Development
Manage Own Stress
Effectiveness and Efficiency
How To Learn
Networking
Objectives
Problem Solving Skills
Interpersonal Skills/Trust
Understanding Customers
Health & Safety - Law & Practice
Understanding Quality
Delivering Quality
Using Information for Decisions
Preventing Accidents
Presenting Information
Performance Indicators
Maintaining Information Systems
Understanding Costs

IT Applications
 Materials
 Sources of Information
 People as a Resource
 Questionnaire Design And Analysis
 Equipment
 Supporting Individuals
 Planning Work
 Security
 Minimising Waste
 Building the Team
 Delegation
 Coaching
 Planning Development
 Training
 Induction
 Assessing Performance
 Managing Performance
 Practical Manager - Introduction to First Line Management
 Managing Resources (20 courses)
 Security
 Minimising Waste
 Training
 The Environment
 Gathering Valid Information
 Analysing Information
 Maintaining Information Systems
 Sources of Information
 Planning Work
 Sustainable Development For All
 Greening the Workforce
 Profit From Environmental Management
 Implementing An Environmental Management System: The EMS Toolkit
 Information Management

Introduction to Management & Organisations

Operations and Process Management

Supply Chain Management

Information Awareness

Performance Indicators

Equipment

Marketing (5 courses)

Marketing: Win More Business

Marketing: Unleashing The Potential Of Your Business (Mac)

Marketing

Communications Media

Marketing: Unleashing The Potential Of Your Business (PC)

Personal Development (29 courses)

Time Management

Ethics In Business

Self Development

Planning Development

Manage Own Stress

Minimising Stress

Effectiveness and Efficiency

Communications Media

How To Learn

Non-Verbal Communication

Networking

Meetings

Problem Solving Skills

Written Communication

Identifying Self Development Needs

Using Information for Decisions

Briefing Skills

Planning Work

Influencing/ Negotiating

Managing Your Personal Effectiveness

Effective Decision Making

Effective Business Writing
Effective Problem Solving
Managing Your Personal Development
Improve Your Personal Effectiveness
Essential Business Skills
Presentation Skills
Motivating Yourself and Others
Effective Meeting Skills

Productivity (19 courses)

Production Led Maintenance (Workbook)
Production Led Maintenance (Online)
JIT Kaizen (Online)
Standard Operations (Online)
Creating A Continuous Improvement Culture
Failure Mode And Effects Analysis (FMEA) (Workbook)
5S: Workplace Organisation (Workbook)
Delivering Value Through The Supply Chain
Failure Mode And Effects Analysis (FMEA) (Online)
Skill Control (Workbook)
Identifying And Eliminating The 7 Wastes
Standard Operations (Workbook)
5S: Workplace Organisation (Online)
Setting The Vision Of Lean Thinking
Skill Control (Online)
Introduction To Productivity Improvement - Stage 1
7 New Tools (Online)
Introduction To Productivity Improvement - Stage 2
7 Tools For Continuous Improvement (Workbook)
Introduction To Productivity Improvement - Stage 3
7 New Tools (Workbook)
Introduction To Six Sigma
7 Tools For Continuous Improvement (Online)
Materials
Kaizen (Workbook)

- Kaizen (Online)
- JIT Kaizen (Workbook)
- Project Management (7 courses)
 - Project Management Skills (SF)
 - Project Management Skills: Starting A Project (SF)
 - Project Management Skills: Estimating And Procurement (SF)
 - Project Management Skills: Scheduling And Managing Risk (SF)
 - Project Management Skills: Quality And Control (SF)
 - Project Management Skills: Communication And Human Resources (SF)
 - Producing Project Reports
- Quality (9 courses)
 - 7 New Tools (Online)
 - Understanding Quality
 - 7 Tools For Continuous Improvement (Workbook)
 - Delivering Quality
 - 7 New Tools (Workbook)
 - 7 Tools For Continuous Improvement (Online)
 - Kaizen (Workbook)
 - Kaizen (Online)
 - JIT Kaizen (Workbook)
 - Quality and Continuous Improvement
 - Investors In People
- Recruitment (7 courses)
 - Recruiting and Keeping Staff (PC)
 - Recruitment and Selection
 - Interviewing Skills
 - People as a Resource
 - Induction
 - Planning to Recruit
 - Selecting the Right Person
- Specialist Sectors (9 courses)
 - Volunteers (1 course)
 - Managing Volunteers
 - Care (1 course)

Working in Care

Call Centres (3 courses)

Call Centre Essentials

Call Centre Pre-Employment

Call Centre Team Leaders

Genealogy (1 course)

Relative Strangers - An Introduction to Genealogy

Retail and Distribution (3 courses)

Automotive Industry Overview

Certificate of Professional Competence in Road Haulage

Fork Lift Truck Operation In A Warehouse Environment - The Theory

languages (33 courses)

French (6 courses)

Fun With French - Beginner

Fun With French - Intermediate

Everyday French - Beginner

Everyday French - Beginner +

Everyday French - Intermediate

Everyday French - Advanced

German (6 courses)

Fun With German - Beginner

Fun With German - Intermediate

Everyday German - Beginner

Everyday German - Beginner +

Everyday German - Intermediate

Everyday German - Advanced

Spanish (6 courses)

Fun With Spanish - Beginner

Fun With Spanish - Intermediate

Everyday Spanish - Beginner

Everyday Spanish - Beginner +

Everyday Spanish - Intermediate

Everyday Spanish - Advanced

Italian (2 courses)

- Fun With Italian - Beginner
- Fun With Italian - Intermediate

Japanese (2 courses)

- Fun With Japanese - Beginner
- Fun With Japanese - Intermediate

Greek (2 courses)

- Fun With Greek - Beginner
- Fun With Greek - Intermediate

Welsh (2 courses)

- Fun With Welsh - Beginner
- Fun With Welsh - Intermediate

English As A Second Language (7 courses)

- Going Up
- English Skills Check (Online)
- English Skills Check (CD ROM)
- Welcome to English
- The English Game
- ELLIS Introduction
- ELLIS Middle Mastery

skills for life (148 courses)

Literacy (32 courses)

- A Way with Words - Entry Level (CD ROM)
- A Way With Words - Entry Level 3 (Speaking And Listening)
- A Way with Words - Level One (CD ROM)
- Checkpoint - A Basic Punctuation Package
- A Way With Words - Entry Level 3 (Writing)
- A Way with Words - Level Two (CD ROM)
- Preparing for Testing - Literacy Level 1
- A Way With Words - Entry Level 3 (Reading)
- Spelling It Out
- Preparing for Testing - Literacy Level 2
- A Way With Words - Level One (Speaking And Listening)
- A Way With Words - Entry Level 1 (Speaking and Listening)

Key Skills Primer - Communication Skills - Level 1
A Way With Words - Level One (Writing)
A Way With Words - Entry Level 1 (Writing)
Key Skills Primer - Communication Skills - Level 2
A Way With Words - Level One (Reading)
A Way With Words - Entry Level 1 (Reading)
A Way With Words - Level Two (Speaking and Listening)
A Way With Words - Entry Level 2 (Speaking and Listening)
A Way With Words - Level Two (Writing)
A Way With Words - Entry Level 2 (Writing)
A Way With Words - Level Two (Reading)
A Way With Words - Entry Level 2 (Reading)
Word Skills Check (Online)
Key Skills Primer - Communication Skills
Word Skills Check (CD ROM)
Living Room (PC)
Living Room (Mac)
Word on the Street (Video and Print)
Word on the Street (CD ROM)
Better Letters

Numeracy (92 courses)

Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Subtraction Stage 2)
Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Subtraction Stage 3)
Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Time Stage 1)
Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Time Stage 2)
Numbers Direct Entry Level (Decimals Entry 3)
Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Time Stage 3)
Numbers Direct Entry Level (Measure and Shape Entry 1)
Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Multiplication Stage 3,
Part 1)
Numbers Direct Entry Level (Measure and Shape Entry 2)
Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Multiplication Stage 3,
Part 2)
Numbers Direct Entry Level (Length Entry 3)

Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Division Stage 3)
 Numbers Direct – Level One (Number)
 Numbers Direct Entry Level (Weight Entry 3)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Fractions Stage 2)
 Numbers Direct – Level One (Handling Data)
 Numbers Direct Entry Level (Capacity Entry 3)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Fractions Stage 3)
 Using Percentages
 Numbers Direct Entry Level (Shape Entry 3)
 Cash Crescent
 Numbers Direct Entry Level (Data Handling Entry 1)
 Numbers Direct Entry Level (Data Handling Entry 2)
 Numbers Direct Entry Level (Data Handling Entry 3)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Decimals Stage 3)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Measure and Shape Stage 1)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Measure and Shape Stage 2)
 By using your personal Learning Map created with the Number Skills Check, you can identify which of the bite-sized chunks to focus your learning on. These courses are aimed at improving your skills up to Entry Level Three, giving you plenty of opportunity to practise your number skills in everyday situations. (4 hours) full details...
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Length Stage 3)
 Key Skills Primer – Application of Number
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Weight Stage 3)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Capacity Stage 3)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Shape Stage 3)
 Maxtrax
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Data Handling Stage 1)
 Number Tasters (Workbook)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Data Handling Stage 2)
 Number Tasters (CD ROM)
 Numbers Direct – Entry Level (Workbooks) (Data Handling Stage 3, Part 1)
 Number Tasters (Online)

Numbers Direct - Level One (CD ROM)
 Numbers Direct - Level Two (CD ROM)
 Numbers Direct - Entry Level (Online)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Number Stage 1)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Number Stage 2)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Number Stage 3)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Money Stage 1)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Money Stage 2)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Money Stage 3)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Addition Stage 1)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Addition Stage 2)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Addition Stage 3)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Subtraction Stage 1)
 Numbers Direct - Entry Level (Workbooks) (Data Handling Stage 3, Part
 2)
 Numbers Direct Entry Level (Number Entry 1)
 Numbers Direct Entry Level (Number Entry 2)
 Numbers Direct Entry Level (Number Entry 3)
 Numbers Direct - Entry Level (CD ROM and Workbooks)
 Numbers Direct Entry Level (Money Entry 1)
 Numbers Direct - Entry Level (Video)
 Numbers Direct Entry Level (Money Entry 2)
 The Numbers Game (Stage 1)
 Numbers Direct Entry Level (Money Entry 3)
 The Numbers Game (Stage 2)
 Numbers Direct Entry Level (Addition Entry 1)
 The Numbers Game (Stage 3)
 Numbers Direct Entry Level (Addition Entry 2)
 The Numbers Game (Stage 4)
 Numbers Direct Entry Level (Addition Entry 3)
 Number Skills Check (CD ROM)
 Numbers Direct - Level One (Fractions, Decimals & Percentages.)
 Numbers Direct - Level Two (Measure, Shape & Space)
 Numbers Direct - Level Two (Handling Data)

Numbers Direct Entry Level (Subtraction Entry 1)
Numbers Direct Entry Level (Subtraction Entry 2)
Numbers Direct Entry Level (Subtraction Entry 3)
Numbers Direct Entry Level (Time Entry 1)
Numbers Direct - Level Two (Number)
Numbers Direct Entry Level (Time Entry 2)
Numbers Direct - Level Two (Fractions, Decimals & Percentages)
Numbers Direct Entry Level (Time Entry 3)
Number Skills Check (Online)
Numbers Direct Entry Level (Multiplication Entry 3)
Key Skills Primer - Application of Number - Level 1
Numbers Direct Entry Level (Division Entry 3)
Preparing for Testing - Numeracy Level 1
Numbers Direct Entry Level (Fractions Entry 2)
Preparing for Testing - Numeracy Level 2
Numbers Direct Entry Level (Fractions Entry 3)
Cash Crescent Next Steps
Measuring Up
Key Skills Primer - Application of Number - Level 2
Numbers Direct - Level One (Measure, Shape and Space)

Lifeskills/Lifestyles (11 courses)

Driving your Car
Green Fingers
Helping Your Child
Health & Fitness
Citizen UK!
Quizmaster
Chart Breaker
Fishing Challenge
House Game
Football Fever
Getting A Job

Work Based (5 courses)

Essential Skills for Health & Care

Skills City - Distribution
Skills City - Retail
Skills City - Manufacturing
Essential Skills for Work
English As A Second Language (7 courses)
Going Up
English Skills Check (Online)
English Skills Check (CD ROM)
Welcome to English
The English Game
ELLIS Introduction
ELLIS Middle Mastery

調査団

文部科学省 生涯学習政策局参事官付企画官	土屋 光弘
独立行政法人 メディア教育開発センター 理事長	清水 康敬
独立行政法人 メディア教育開発センター 助教授	青木久美子
財団法人 日本視聴覚教育協会 常務理事	岡部 守男